

< 第 2 回豊明市特別職報酬審議会議事録要旨 >

日 時 平成 15 年 1 月 29 日 (水) 午前 10 時 00 分 ~ 午前 11 時 55 分

会 場 市役所 3 階 教育委員会室

出席者 委員 9 名 (相羽、伊藤、木村、鈴木、遠山、内藤、藤野、野村、山口)

事務局 市長公室長、公室次長兼秘書課長、人事係長、堀井、深草

欠席者 1 名 (加藤)

前回欠席委員 野村委員自己紹介

1 会長あいさつ

第 2 回目の審議会。よろしくお願ひ致します。

2 審議

事務局より書類番号 5 から 9 までの追加資料について説明。

(会長) 事務局より説明をしていただきましたがご審議ください。

(委員) 平成 13 年度の単年度収支はマイナスとなっているのか？

(事務局) 約 3 億 5 千万円です。

(委員) 豊明市の平成 13 年度経常収支比率は 82% ということだが、80% 以上は財政状況が非常に危険だと言える。こうした状況の中で据え置きでは組織の活力が生み出されない。市の財政をうまく生かすためにも据え置くべきではないと思う。

(委員) 日本の経済の流れから見ても据え置きでは市民に受け入れられないと思う。三役はある程度の引下げはやむを得ないのでは？議員については、据え置きで良いのでは？

(委員) 一般の方々も収入が減少している。やはり据え置きではなく、引下げるべきではないか？しかし、三役と議員で率を変えて引下げるべきだと思う。

(委員) 前は据え置きでも良いと思ったが、市のトップとしての姿勢を見せるためにも、若干の引下げはやむを得ないのでは？議員についても同じである。

(委員) トータル的にみて、若干の引下げが妥当だと思う。しかし、三役と議員で引下げ率を変えるべき。

(委員) 据え置きで良いのでは？今の財政状況だけですぐに引下げるべきではないと思う。

(委員) 現在の社会情勢や、職員も引下げられている現状からして、引下げるべきだと思う。

(委員) 世の中の流れを見ても、ある程度の引下げは必要では？

(休憩 10:55 ~ 11:00)

(委員) 市民感情、経済状況も考慮して、引下げるのか？それとも据え置きにするのか？

(会長) 皆さんの意見をお聞きします。

(委員) 三役 2～3%、議員 1～1.5%。

(委員) 三役 2%以内、議員 1%以下。

(委員) 三役 1～2%、議員 0.7～1%。

(委員) 三役 2～3%、議員 1～1.5%。

(委員) 三役 1.5～2%、議員 1%程度。

(委員) 三役 1～2%、議員 0.7～1%。

(委員) 三役 2%、議員 1.5%。

(委員) 三役 1～2%、議員 1%。

(委員) 人勧ですでに減額されている点も考慮すべきでは？

協議の結果、三役 2%、議員 1%に決定。

(委員) 審議会は毎年開催されるのか？

(事務局) 去年は開催され据え置かれました。しかし、開催されなかった年もありません。

(委員) 来年も報酬審議会が開催されるよう答申書に載せても良いのか？

(事務局) 問題ないと思います。

引き続き改定金額及び改定時期について協議した結果、額については千円未満を切り捨て、改定時期については平成15年4月1日とすることで決定。

(会長) それでは本日はこれにて散会し、次回は2月6日(木)午前10時00分より本審議会を再開したいが、これにご異議ありませんか？

全委員異議なし

(会長) 異議なしと認め、本日はこれにて散会致します。長時間ご苦勞様でした。

午前11時55分散会